

2019年度 就労準備支援事業従事者養成研修



本人の状態に応じた多様なメニュー開発

2019年10月8日
(公財)沖縄県労働者福祉基金協会 事務局長
おしごと応援センターONE × ONE(ワンバイワン)
センター長 岡野みゆき

【沖縄県労働者福祉基金協会】

▶労働者の福祉の向上

- ⇒ワンストップ相談センター ⇒ 働きたくても就職できない人
- ⇒ 沖縄の貧困
- ⇒「見て見ぬふりをしない」「できるところまでやってみよう！」
- ⇒「仕事と子育ての両立支援」⇒「子育てや介護の就職困難者支援」
- 「パーソナル・サポート・サービスモデル事業 第1モデル（2010）

生活困窮者自立支援制度モデル事業」 +
「パーソナル・サポート事業」沖縄県独自の取り組み（一体的）

▶生活困窮者自立支援事業

30町村（沖縄県）、2市（那覇市、沖縄市）

▶就労準備支援事業 + 被保護者就労支援事業 広域：8名

30町村（沖縄県） + 3市（うるま市、沖縄市、豊見城市）

⇒北・中・南部に拠点 （個別ニーズに合わせたプログラムを実施）

* 2020年度は対処地域が増える可能性あり

●この講座の目標

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。
就労準備支援プログラムの作成！

●この講座終了時には！

- ◎地域・対象者に合わせたメニューを創造したい！
- ◎できない理由ではなく、できる方法を探す！
- ◎仲間を増やす！ チームで！

★就労準備支援事業は、とても自由度の高い取り組みができる。

★一緒にできる、日々の変化を見れる、グループの力、

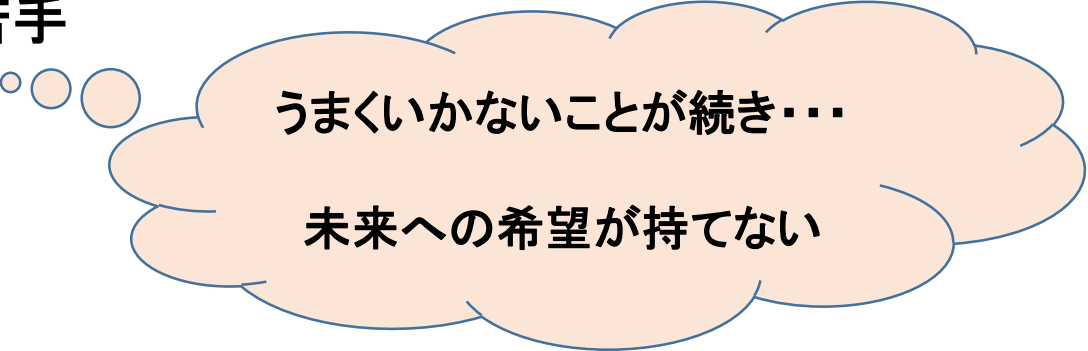
★地域を巻き込める、安全・安心な社会縮図

Q: **皆さんの地域**の就労準備支援事業は？

相談者の特徴

長期失業や困難状態が続き、

- 生活リズムの乱れ
- 依存傾向**
- コミュニケーションが苦手
- 自信喪失
 - 意欲の低下
 - 学習性無力感**
 - 自己否定、他者否定**
- 精神面での不調(適応障害・うつ等)
- 病気やけが



うまくいかないことが続き...

未来への希望が持てない

論理的な思考ができず、 **認知のゆがみ**

2. 生活困窮者自立支援制度の目指す社会像、目標、支援のかたち、基本姿勢

制度の目指す社会像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが自立と尊厳を確保できる地域社会の実現 ・ 社会的排除や孤立のない全員参加型地域社会の実現 ・ 生活困窮を生み出さない地域社会の実現 ・ 生活困窮状態からの脱却が可能な地域社会の実現
-----------	--

制度の目標

生活困窮者の自立と尊厳の確保

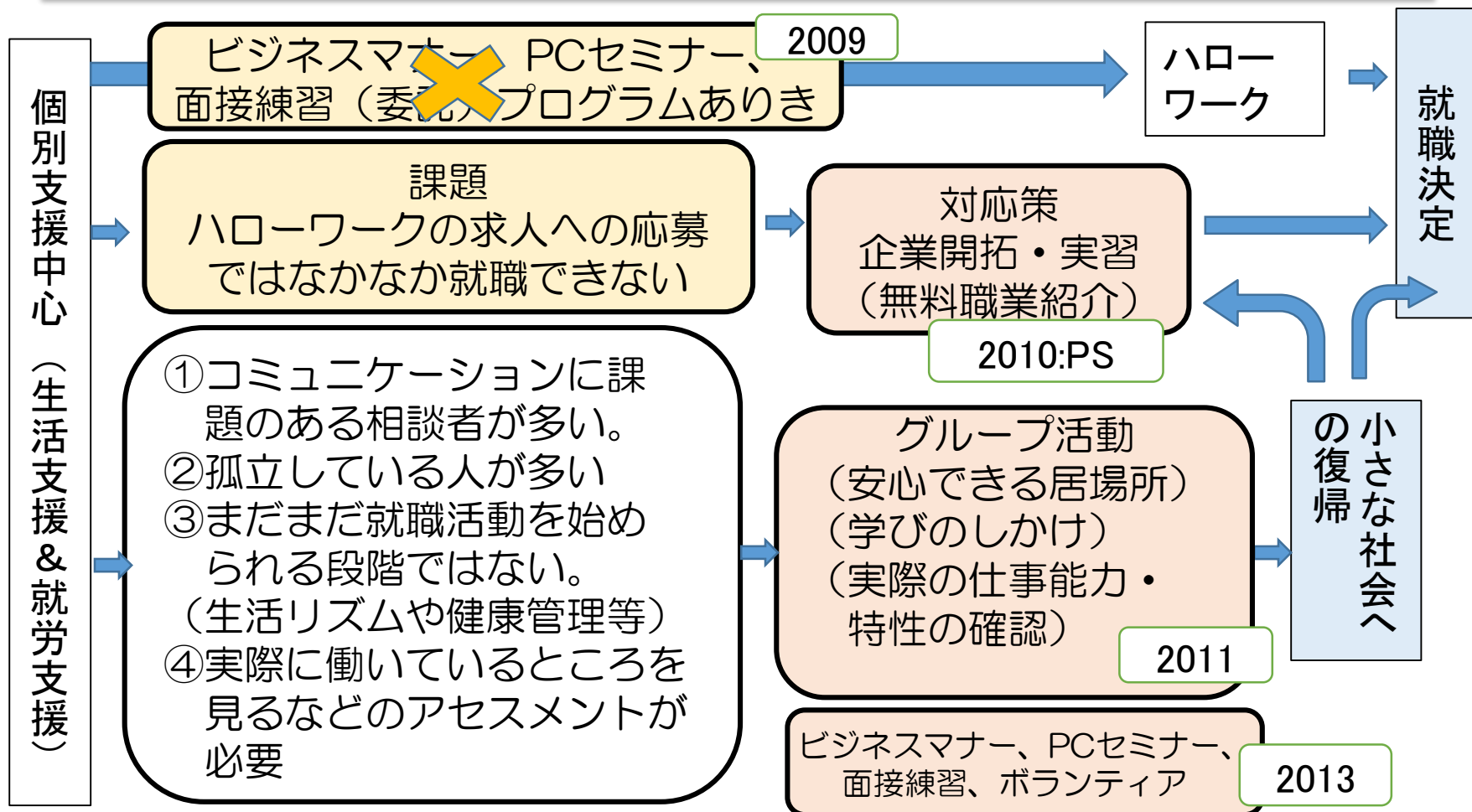
生活困窮者支援制度を通じた地域づくり

新しい生活困窮者支援のかたち

(1) 包括的な支援	生活困窮者の課題は多様で複合的である。「制度の狭間」に陥らないよう、広く受け止め、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族問題などの多様な問題に対応する。
(2) 個別的な支援	生活困窮者に対する適切なアセスメントを通じて、個々人の状況に応じた適切な支援を実施する。
(3) 早期的な支援	真に困窮している人ほどSOSを発することが難しい。「待ちの姿勢」ではなく早期に生活困窮者を把握し、課題がより深刻になる前に問題解決を図る。
(4) 継続的な支援	自立を無理に急がせるのではなく、本人の段階に合わせて、切れ目なく継続的に支援を提供する。
(5) 分権的・創造的な支援	主役は地域であり、国と自治体、官と民、民と民が協働し、地域の支援体制を創造する。

信頼関係の構築	家族を含めた支援	チームアプローチの展開
ニーズの的確な把握	8つの基本姿勢	さまざまな支援のコーディネート
自己決定の支援	社会とつながりの構築	社会資源の開発

■対象者の状態(課題等)に合わせて対応 多様な支援メニューの必要性



一人ひとりをしっかり見て、聴いて、やれろと信じて！
課題をクリアする方法を考え、取り組んだ結果⇒
支援メニューの増加

就労準備支援事業はいろいろ！

- ・就労準備講習(様々な種類のグループワーク)
- ・就労体験(企業実習)

基本は
個別アプローチ！

小集団の中で様々な活動の場を活用して効果を高める。
グループの効果！

就労準備
講習

意欲がない／言い訳する
何がしたいのか分からない・・・



色々な生活、状態、段階、能力の人がいるから、

- ルール：
- ①質問やトイレは、いつでもどうぞ。
 - ②相手の意見を否定しない。
 - ③嫌な時はパスできる。

ルールは守る。信頼関係の下、伝える必要も。

人が変わるキッカケとなる・・・3つの感

安心感 ・ 信頼感 ・ 空気感

【就労準備講習 – 3つの機能 –】

連続した継続的関わり



個性(強み・特性)の発見



それぞれの支援へ



出番をつくる

① キツカケ機能

② アセスメント機能

③ 訓練機能

人との関係で傷ついた人は、人との関係の中で修復

★様々な体験(楽しく)を通して可能性の幅を広げる

支援する上で大切にしていること

自分の力だけでは自立することが難しい
⇒ 人や社会とのつながりの手助け！

1. 相談者の状況、訴え、背景を把握・理解し共感する
(信頼関係構築 ⇒ 応援者として認めてもらう・アセスメント)
 - ・社会との接点を失い、孤立しがち(失業や対人関係スキルの未熟さなど)
 - ・客観的に考えることが難しい。混乱している、思考のくせ(認知のゆがみ)
2. 寄り添い型支援(精神的な寄り添い・孤独感を無くす意)と問題・課題の認識
 - ・孤立感を払拭し、共に問題解決に取り組む姿勢
(ひとりじゃない。一緒にやっぺいこう)
 - ・本人が自らの課題・問題を整理、認識するよう支援する(気づきの支援)
3. 自己肯定感情を高め、自らが解決の主体となりうることを重視した支援
(本人の持つ能力の活用・能力を引き出す・または能力を身に着ける)
 - ・本人を認める ・エンカレッジ(勇気づけ) ・エンパワメント
(自身の力で問題や課題を解決していく力や能力を獲得すること)

支援者も要支援者も対等！ 支え合い！

就労準備講習の場の設定！

➤少人数制

様々な阻害要因（特性などを複数持つ方が多いため、目配り・気配り体制）

➤講義型 △ ⇒ 参加型 ・ 体験型 ○

（自己開示、承認、自己肯定感・自己有用感）

➤プログラム式 △ ⇒ オーダーメイド

（個人個人の目標設定と変化に合わせた柔軟な対応）

⇒ 個別支援を小集団の活動の場で！

* できること、興味のあること、不安が少ないことからスタート！

能力・興味・価値観などそれぞれに合わせたメニュー

「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題に挑戦する場（基礎能力の形成）

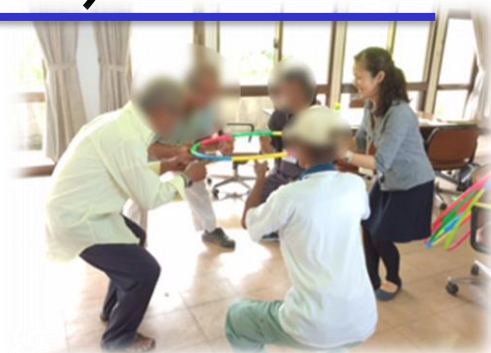
○ 毎回、具体的に「できたこと、向上していること」のフィードバック、
「ありがとう」と言われる場面を通して承認する場を繰り返す。

例えば就労準備講習の プログラム（各支援メニュー）

何だっていい！

体験してみる！
挑戦してみる！
自分の出番！

承認！
喜び！



就労準備講習に参加した方へのアンケート結果

○面白かった内容・ためになった内容

⇒ 人それぞれ

フィールド作業、企業見学、ゲーム、就労体験、調理実習、レクリエーション体操、人参販売、アイスブレイク、字の練習・・・

★畑仕事が楽しくて気分転かんにとても良かった。

もう一度やりたい。畑の収穫がたのしかった。

★雑談や余談がためになった。

★字の練習を継続してやりたい。

★わからない事がいろいろあって、ためになっている。

★ボランティアが一番ためになった。

【3つ“自立”の視点】

プログラム

☆ 3つの自立を意識

▶ 日常生活自立

- ⇒ 毎日定時開始による日常生活習慣づくり
- ⇒ 体ならし、体力づくり、フィールド作業、美化作業
- ⇒ 読み書き、家計管理など基礎的なワーク

▶ 社会生活自立

- ⇒ 対人・集団コミュニケーションスキルに関するワーク、
認知、SST、カードスピーチ、伝達ゲーム、協働ゲーム、調理実習
- ⇒ ボランティアなど社会と関わるきっかけづくり

▶ 就労生活自立

- ⇒ 今後の自立を計画するワーク
- ⇒ 職業訓練ガイダンス
- ⇒ 企業見学、就労体験

【就労準備講習の仕掛け】

- ▶ ⇒ 毎日同じ時間にはじめる
- ⇒ 毎日**日誌**を書く
- ⇒ 毎日**スタッフコメント**をつけて返す
- ⇒ 毎日**スタッフ間で振り返り**を行う
- ⇒ 参加者の**状況・状態に合わせてプログラムを組み替える**
- ⇒ **必要に応じて個別プログラムを追加**する
- ⇒ **アセスメント**を繰り返す
- ⇒ **一緒に昼食**をとる
- ⇒ 必要に応じて**送迎**する
- ⇒ 場合によっては**訪問**する
- ⇒ 場合によっては**アウトリーチ**する



★ 「講習」は社会体験の場。

★ 「講習」は目的ではない。

すべては参加者の「次の可能性」のために！

【きっかけ・アセスメント・訓練】

就労準備講習 日誌

氏名



2016年5月30日(月)	今日の講習: 午前、休む
*具体的な流れ・内容	・反動をつけない
1. 日誌の記入) 10:00~12:00	・呼吸を行う
2. 休む) 13:00~15:00	・オーバーストレッチ
3. 事前確認作業表	
4. 振り返り	

5週間コース
 ★ワーク以外で関わる時間も、
「情報収集」や「再アセスメント」に繋がる大切な時間!
 ★1日の最後にはスタッフ全員で**「振り返り」**をして、
 翌日のアプローチに繋げる。
 ★1日約**6時間**×**5週間**の連続性。
 ★個別状況に応じた**タイミング&見極め&アプローチ**
 ⇒この仕組みが**信頼関係の構築へ**
やってみようかな〜スイッチ&モチベーション維持に!

*今日の目標 (今日の講習が終わった時、
 どんなことができていたらいと思いますか?)

・
 ・
 ・

*目標の達成感 悪い | どちらでもない | 良い

|-----⊕-----|

*その他 (次の講習の目標、講習の中での気付き・スタッフへの要望など)

リハビリのモチベーションをあげて行きたいと思っています。

*目標の中で出来たこと

- ・90分7-7を集めて出来た
- ・ス7-7の多前を覚えることが出来た。

*できなかったこと

転倒の時に入っていきなことができなかった。

日誌は大切なコミュニケーションツール。
これからの事、提案、承認の言葉…
一人一人に向けて文字で伝えます。

スタッフから

★さん 初めまして!! 皆、最初は話さないですよ!! (今日のメンバーは、2回目の参加が多いからなので、慣れていたと思います😊) ★さんのペースで、少しずつ慣れて下さいね!! これから宜しくお願いします!! (運)

★さん 初参加、お疲れ様です。足のヤカ大丈夫ですか? 午後から参加されてうれしかったですよ!! 講習もスタートしたばかりです。少しづつ★さんのペースと一緒に楽しく取り組まねか!! 今日はお疲れ様でした!! (友)

就労準備講習(2週間・5週間)の流れ

まとめ

○生活リズムの立て直しから参加する方

同じ時間にスタートすることから始め、リズムを取り戻す！

最初の週は、2時間／日からスタートし、徐々に通所の時間を長くするなど。

毎日起きて、毎日参加して、ご飯を食べて、体力をつけて、人と話して、力を合わせて、その先へ♪

自分だけでできること(朝起きる、休む時には連絡する、食事を取る)

- 社会に一步出してみる(個人作業・他人と同じ空間にいる)
- 社会で人と関わってみる(話す、同じ空間で一緒に作業する)
- 共同で作業する(協力が必要)
- コミュニケーション訓練
- 仕事の現場に触れてみる(実習、体験)
- キャリアプラン

【内容変更！】地域性に合わせて。 目の前の相談者に合わせて、日々の変更

▶一人ひとりをしっかり見て！

プログラムの各メニューは、あまり変更しないが、内容は受講者の状況、状態に合わせてより良い支援という視点で変更あり。

目配り・気配り、声掛け、日誌などから、本人の自信に繋がること、課題への挑戦や克服への勇気づけや後押し、ここだ！と思うタイミングで関わる。セミナーは生もの！

日頃からのチームで共有が大切。

強みを発見 ⇒ 一人ひとりの出番づくり！

一人ひとり阻害要因は異なる。準備段階も異なる。

⇒ 対象者の状態に合わせた支援メニュー作成

就労準備講習がスタートする前に(補足資料)

- ①自立相談支援事業担当等との情報共有
(健康状態、障害要因、特性、意欲、課題、目標など)
- ②本人との面談(事前相談・顔合わせ)
 - セミナー説明
 - 参加の意思確認
 - 困りごとを確認
 - 講習を通しての目標(短期・中期・長期等)
- ③オリエンテーション
 - スケジュールやルール説明
 - ⇒ 受講開始

連続性のある講習の効果！（補足資料）

- 信頼関係の構築
- 居場所ができる ○仲間ができる
- 本人も自らの現状を様々な角度から確かめることができる
- 毎日のステップを見る、付き合うことができる
- 変化・進捗・習熟が実感できる
- 支援員にとって、本人状況のアセスメントができる
- 次の段階へ向けた緻密なスクリーニングができる

多様なメニューの効果！

パスあり
無理せず
相談

○初めての体験で気づきの大きなきっかけになることもある。

苦手だと思っていた、避けていた。だけど挑戦してみたことで大きな変化に繋がることも多い。（自己決定・自己選択！！無理強いはいしない！）

■対象者に合わせた支援メニューの必要性

目の前の相談者一人ひとりに必要なことは何か？という視点で！ 支援メニューが増えた！！



コミュニケーションが苦手

椅子に座ってやるのは嫌

マイナス思考
(自責・他責)

内向的な人

あいさつ・(声を出す・目を合わせ)
【コミュニケーションセミナー】



・屋外に出て、集団の中での活動
・人と関わらないでもいい作業
畑・美化作業、ボランティア体験等



・コミュニケーションに課題
・思考のくせの修正が必要
SST・アサーション
【マイナス思考を変えるセミナー】



・自分のペースで屋内で個人作業
絵を描く・陶芸・字を書く
【作業療法的セミナー】



想いのマップ・カラーージュ(ほしい物)
【キャリアプラン】



に合わせて支援メニューが増えた
相談者の状態と興味・能力・価値観



(企業実習前漫画セミナー)
【就職準備セミナー】

地域性(受講者の状態、社会資源)によって支援メニューが異なる。

担当者制の個別相談 + セミナー担当との協働

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？（入り口として）

○対象者は？

入りやすさ：興味・能力・価値観・できる事・苦手なこと・
体調・体力・配慮が必要なこと・その他

①体力がある・動くことが好きな中年男性 ⇒

②孤立している中年男性 ⇒

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○対象者は？

③人と関わるのが苦手・他人との関わりを避けている、
自信がない ⇒

④就労可能なのに意欲が低い ⇒

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

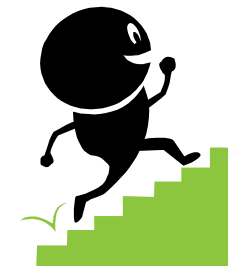
30代男性（両親と同居）
コミュニケーションに課題のひきこもり歴あり。発達障がいのボーダーライン？
お金を使いすぎる

体操

企業実習

ボランティア

畑作業



50代男性（一人暮らし）
社長経験者、事業が上手くいかず倒産。アルコール依存、うつ病発症

パン作りと販売

アルコールセミナー

陶芸

コラージュ

キャリアプラン

40代女性（一人暮らし）
パワハラや職場のいじめで退職。DV被害者経験あり

家計管理

清掃

コミュニケーション

その他

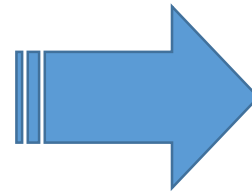
相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○メニューを分類

- 作業療法系
- 運動系(体を動かす)
- 依存症系
- 認知行動療法系
- コミュニケーション系
- ストレスマネジメント系
- キャリアプラン系
- ビジネスマナー系
- スキル(資格)系
- 知識系

居場所からスタートして
分類されたメニューの中
でもスモールステップの
しかけあり！



相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

あなただったら、どんなメニューを作る？

○パソコンセミナーと一口で言っても…

同じタイトルでもスモールステッププログラム！



第1ステップ

来ることから、休むときには電話、1人で作業(2時間)

第2ステップ

好きなときに来て練習(使いたいときは声をかける)

第3ステップ

ワード・エクセル・インターネット興味を広げる

第4ステップ

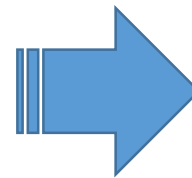
入力メインで「仕事発注(模擬職場体験①)」

第5ステップ

2人1組で調べ物(好きなテーマ)と発表

第6ステップ

仕事分担「仕事発注(模擬職場体験②)」



無理なく徐々に就労
への力がつく流れる
メニューの多様性.
参加者に合わせて
プログラムを作成!
自己肯定感
UP!

どんなセミナーのテーマがあるのか・・・

同じセミナータイトルでも内容、目的は異なる。

日常生活自立支援

〔 外に出てみよう
・個人ワーク 〕

クリニカルアート（絵を描く）

PC（ステップ①②）

清掃①・花植え①・畑作業①

（植えつけ、収穫他）

調理実習①・家計管理①

食の大切さ①

ドリームマップ

（欲しいもの目標をコラージュ）

片づけ講座・ボランティア①

手びねり陶芸・ストレッチ

アルコールとの付き合い方など

社会生活自立支援

〔 集団の中に入る
→役割を持つ 〕

PC（ステップ③④⑤）

清掃②・花植え②・畑作業②

調理実習②・食の大切さ②

家計管理②・救命講習

インプロ①

SST①

（生活編コミュニケーション訓練・ロープレ）

認知行動療法

マイナス思考からプラス思考へ

パン作り&販売&接客体験

ボランティア②など

就労自立支援 (就労をより意識した段階のセミナー)

PC (ステップ⑤)

SST② (仕事編)
自己理解セミナー
職歴の振り返りセミナー
企業実習前セミナー
求人広告読み方セミナー
仕事理解セミナー
未来プランニング
身だしなみ講座
マイナス思考からプラス思考へ
パン作り&販売&接客体験
ボランティア③
企業実習見学ツアー前講座
就労定着準備セミナー

PC (ステップ⑥)

求人の探し方セミナー
企業実習前セミナー
志望動機作成セミナー
面接マナー (面接練習)
電話応募セミナー
講和「働くとは」
認知行動療法的セミナー
企業実習見学ツアー
就労体験
企業実習

複数センターの協働
自立相談支援事業・他機関との連携の視点も！！
チーム支援

セミナーメニュー

受講生の興味・適性・能力に合わせて企画 (段階別)

* 地域によってセミナー内容異なる

* プログラムは相談者の状態に合わせて

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！

1日の関わり方(例)



9:00 **送迎**

毎日、モーニングコール！
送迎中は情報の宝庫♡

10:00 講習スタート

日誌記入 (目標設定)

午前ワーク ~休憩

(例:ウォーキング、学び直し、花植え...)



12:00 **昼食**

参加者もスタッフもリラックス～♪
タバコ、雑談、将棋、居眠り...

13:00 午後ワーク ~休憩

(例:協働ゲーム、企業見学、職場体験...)



14:45 日誌記入 (振り返り)



15:00~ **送迎**

ワークの反応を聞くチャンス！
疲れ具合も見える！



就労準備講習 日誌		氏名	☆☆
2016年 月 日 (月)	今日の目標: 就労準備講習		
*目標を設定し、内容 1. 日誌を記入 (10:00-12:00) 復習と学び直し 2. 午前ワーク (12:00-13:00) 雑談と居眠り 3. 午後ワーク (13:00-14:00) 協働ゲームと職場体験 4. 日誌記入 (14:45) 振り返り			
*今日の目標 (今日の講習で何を学ぶか、その目標を達成するために何をやるか)		*目標の中で出来たこと 1. 雑談が楽しかった。	
*目標の達成度 (達成率)	0% --- 100%	*できなかったこと 1. 雑談が楽しかった。	
*その他 (次の講習の目標、講習の中で気づいたこと、スタッフへの要望など) 1. 雑談が楽しかった。			
スタッフから ☆☆☆ 素晴らしい!! 皆、最初は緊張していましたが、(今日の講習) 2日目の講習も少なくて、慣れたので、大丈夫!! ☆☆☆ A.A.S.T. さんの 講習も楽しかったです!! 今後の講習も頑張りたいです!! ☆☆☆ 社会の仕組みや、企業が求めている人材のイメージが、講習を通じて分かってきました!!			

就労準備講習は、 同じ場を共有しながらの **個別** 自信回復体験（経験し直し） 意欲換気 プログラム

対象者：傷つき体験、うまくいかないことが続いている人も多い

就労準備支援事業に参加したいと意欲的か？

参加してもらうにはどんな動機づけが必要か？

挑戦するには…… 敷居を低くする。



安心感

プラスに
なりそう

楽しく

成功体験

【就労準備講習 目的と活用法】 (補足資料)

一人ひとりに合わせて、スタッフ(自立支援事業担当も)と一緒に 講習期間の目標設定！

毎日の目標設定は、各自で立てる。

Aさん：個別アプローチを小集団での活動の場で行い、スモールステップで挑戦。承認され社会性を身に付けてほしい。

Bさん：コミュニケーション力があるので、集団活動の中で生かすことで意欲換気に繋がりたい。

Cさん：一人で社会参加する前に、企業実習へ繋がられる状況か、社会性、体力などを確認したい。

就労準備講習に参加した方へのアンケート結果

(補足資料)

【講習前後の変化】

人との違いを当たり前前の事として考えれるようになった。体力の調整ができた。受ける前よりだいぶ体力、集中力等がついたように思います。友達がふえた事。バス通勤が楽しみにになった。スタッフや受講生の皆さんと出会えた事。家を出る時はイヤだと思うがセミナーに行けば楽しくなる。楽しくなった。なし

【自分にとってこれから必要なもの】

リハビリ、体調管理、体調調整、体力向上。

できる仕事等を早く探して、生活面を安定させる為に少しでも行動に移せるようになりたいと思います。

良い仕事にめぐり合って、楽しく、働きたい。

いろいろな仕事紹介等があれば参加したいです。

文字を分かるようにきれいに書く。履歴書作成。

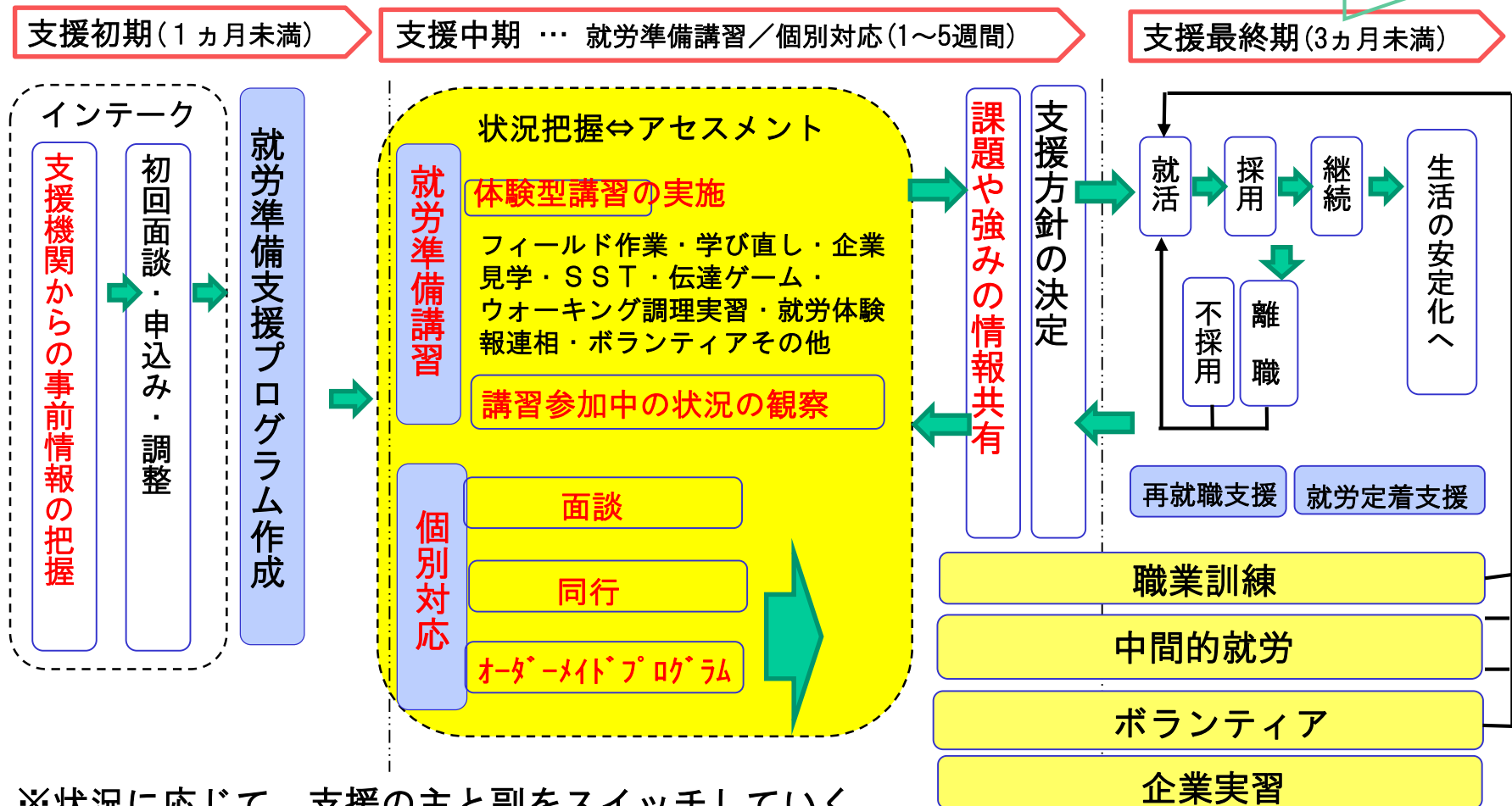
家、金、資格、愛、仕事、病院、パソコン、友達、肉、リハビリ、講習。

参加前、参加後の状況

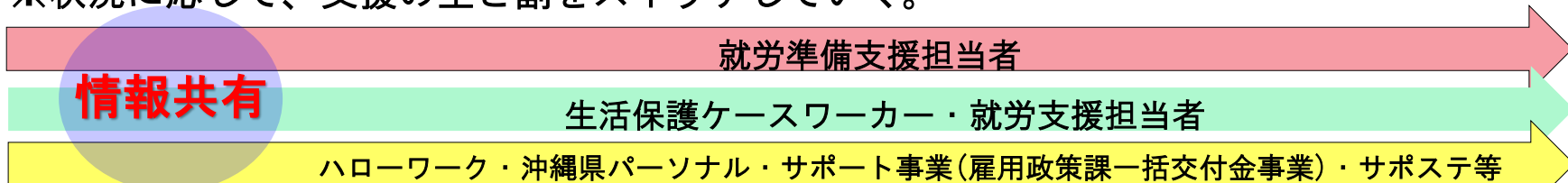
(本人記入アンケートを基に作成)※「」内は記入内容

	参加前	参加後
Aさん 50代、男性	「もっと元気になればいい」	参加前目標の達成 「笑いが増えた」
Bさん 20代、女性	「生活リズムが整っていたらいい」	参加前目標の達成 「少しは起きれるようになった」
Cさん 40代、女性	「就労に意欲が湧いて職につけたら最高だと思います」	就労意欲の向上 「前に比べて、すごく元気になった」
Dさん 60代、男性	「週2～3日のアルバイトを見つけない」	参加前には想定していなかった事柄の達成 「字を覚えることが出来た」 「字を書くことが出来て良かった」
Eさん 30代、男性	「今より心が落ち着いて、少しでも周りの人達とコミュニケーションが取れるようになってほしい」	参加前目標の達成 「気持ち少し明るくなった」

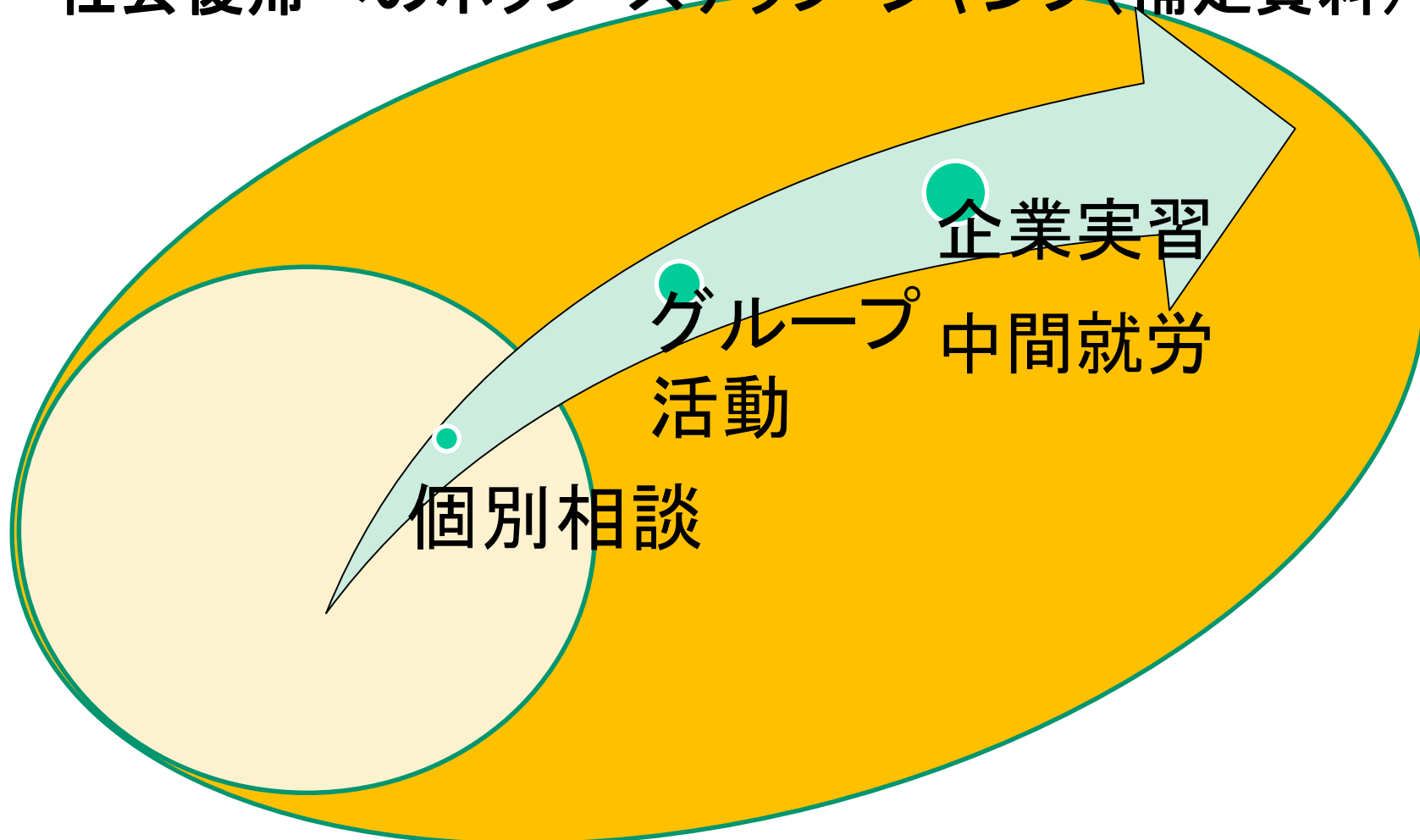
就労準備支援事業 ～支援の流れ～ ※6カ月～1年



※状況に応じて、支援の主と副をスイッチしていく。



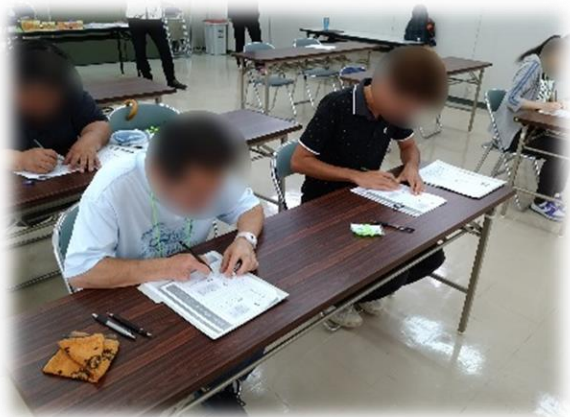
社会復帰へのホップ・ステップ・ジャンプ(補足資料)



目の前のその人に必要な支援メニューは何かを考える。
メニューは広がる。
資源の開発

補足資料

自己選択
自己決定



○共通のプログラムの中で、一人ひとりに合わせた個別支援(目標設定や振り返り)を行う視点。



【企業実習】 就労準備講習の次のステップ

行政への働きかけで実現！
就労準備講習と企業実習との連携！

- ▶ 適性に合わせた職種、仕事の切り出しなども提案。
- ▶ その方に合わせた時間、場所、内容
意欲喚起2～4時間あり
- ▶ 職場で関わる人へのアプローチ（指導員）
- ▶ ジョブサポート支援
- ▶ その方の状態から、小集団での活動というスモールステップを踏むよりも社会へ出る活動が合う方。

企業実習で大切にしていること

◎一人ひとりの実習の目的と目標の明確化(スモールステップ)

自立相談支援事業との連携

◎支援員が実習体験をしてマッチング、企業の現場職員との信頼関係構築、ジョブサポート支援(必要に応じて)

◎振り返りを大切に

本人+支援員+職場の担当で振り返り(事業所訪問)

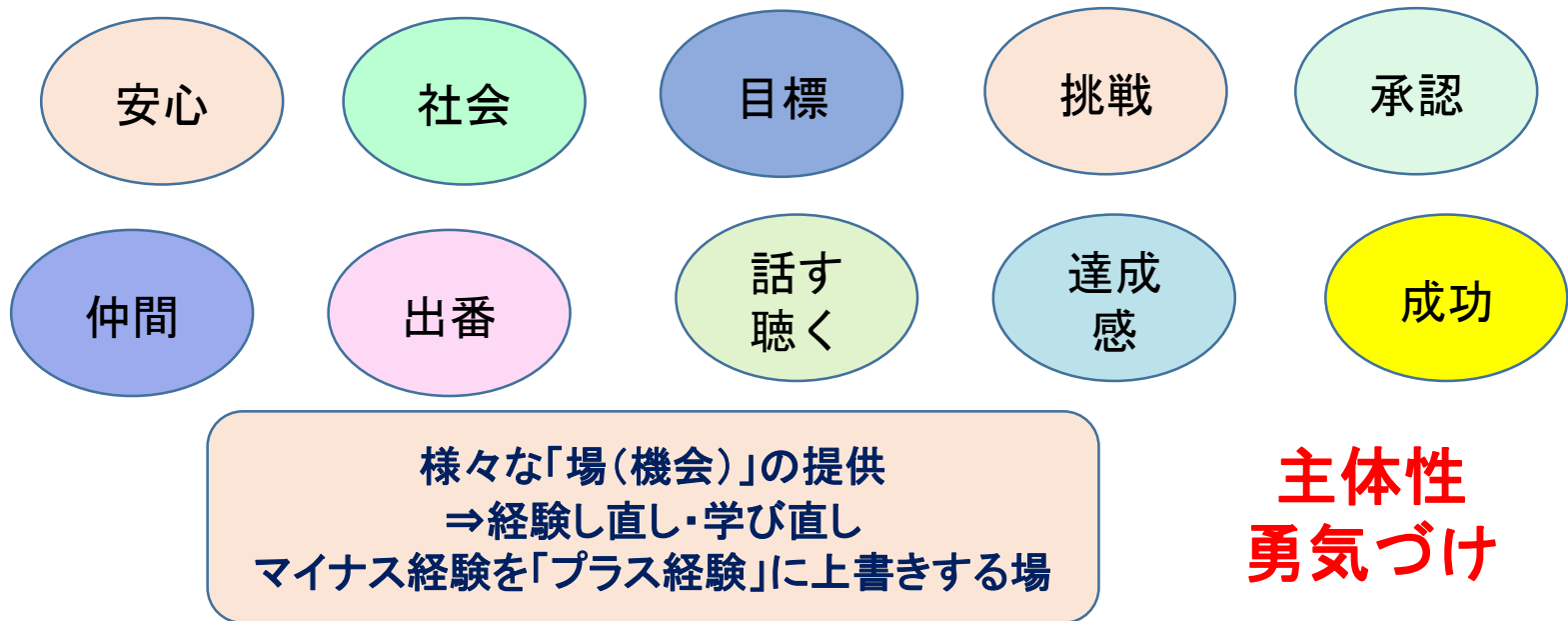
○本人:できた! 次に進めそうな気がする!

○支援員:次につながるアセスメント

就労準備支援事業の場の設定！（補足資料）

自己理解・挑戦・成功体験・経験し直し・自己有用感の醸成
⇒ 自信回復 「就労への基礎能力をつける」

就労準備支援事業の「場」にもとめられること



「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題を克服する場

居場所
安心していら
れる場所

スモール
ステップ。

役に立つ

**楽しく
社会参加**

**環境が変われ
ば人は変わる**

仲間

**就労準備支援事業
キーワード**

**地域巻き込
み力**

**経験を
いかす**

わくわく

経験し直し

自立

出番、役割

アセスメント

まとめ



◎意欲の低い人

⇒就労準備講習の入り口は入りやすく！

その人の「興味・能力・価値観・体力・心身の負担・楽しく」 **自己実現**

⇒多彩なメニュー

何がその人の意欲喚起のきっかけになるか分からないから
目の前の対象者に合わせて、目配り・気配り・心配り

◎ステップアップ

出来た！出来そうな気がする
次のステップへの準備が整う！

⇒自己肯定感を高めるためスモールステップでのメニュー
その段階に応じたメニューが必要



◎個別支援(個別アプローチ)をグループ活動の中で！

⇒プログラムはあるが、一人ひとりの目標設定と承認

対象者の状態に合わせた多様な支援メニューが効果的

まとめ



- ◎「就労準備支援事業」は
居場所～集団の中での学び～就労体験を通じた学び
「就労準備支援事業」を通してできることはたくさんある。

◎「できない理由」ではなく、「できることから一步一步着実に」

仲間を増やす！ 地域というチームで

- ◎地域にある「社会資源」各機関、各事業との連携
⇒ 相談者のニーズに応える



連携で相談者の可能性が広がる

お疲れ様でした。

